

長野の林業

No.
406
2026.7.10

特集

トピックス

地域の話題

県森連だより

長野県林業大学校生を対象とした狩猟魅力講座の開催
長野県林業大学校学生募集・オープンキャンパス開催

- ・令和8年度長野県林業総合センター研究成果発表会
- ・立科町移住定住促進住宅『ヴィーナス・ラーチ たてしな』竣工
- ・上田地域



▲ 長野県林業大学校の講堂にて 野生鳥獣による被害について学ぶ



▲ 模擬銃による射撃の講習



▲ シカ革のプレスレットづくりに挑戦！

鳥獣被害対策の担い手となる狩猟者の確保・育成を目的に、令和8年6月15日(月)、長野県林業大学校の1・2年生を対象として、狩猟の魅力を伝える特別講座を開催しました。

座学では、長野県の野生鳥獣被害や狩猟者の現状について学んだほか、先輩狩猟者や地元猟友会の皆さんから、狩猟のリアルな世界についてお話いただきました。さらに、シカ革クラフトや模擬銃・わなの体験を通して、狩猟をより身近に感じる機会となりました。



長野の林業
フルカラー版

長野県林業大学校の学生に狩猟の魅力を伝える講座を実施しました



近年、野生鳥獣とのあつれきは、農作物の食害などの農業被害、植栽した苗木の食害や立木の剥皮といった林業被害にとどまらず、人の生活圏への出没など、私たちの暮らしや地域の安全にかかわる重要な課題となっています。こうしたあつれきを防ぐうえで、原因となる野生鳥獣の捕獲対策は重要な対策の一つですが、その担い手である捕獲者は減少傾向にあり、高齢化も進んでいます。将来にわたって地域の鳥獣対策を支えていくためには、新たな担い手の確保と育成が欠かせません。また、里山における人の活動機会が減少していることにより、人と野生鳥獣の棲み分けがあいまいになっていることも、野生鳥獣が人の生活圏に接近する原因の一つと考えられています。

そこで県では、長野県林業大学校の学生を対象に、狩猟の魅力を伝える特別講座を昨年度に引き続き開催しました。この講座は、野生鳥獣による被害の現状や対策について知ってもらうとともに、狩猟に親しみをもち、将来の選択肢の一つとして関心を持つってもらうことを目的としたものです。講座は、県内の鳥獣被害の状況や狩猟者を取り巻く現状を学ぶ講義に加え、先輩狩猟者や地元猟友会の話、さらに猟具やシカ革クラフトの体験など、さまざまな角度から狩猟に触れられる内容で実施しました。

午前中の座学では、まず県から、長野県内における野生鳥獣被害の状況やその対策、狩猟者の現状について説明し、地域における捕獲対策の役割や重要性を学んでももらいました。続いて、先輩狩猟者による講義では、狩猟の魅力や実際の活動について、長野県認定管理捕獲技術者であり、林業にも従事している小幡唯さんにお話しいただきました。

小幡さんの、林業の現場でシカによる被害を目の当たりにしたことをきっかけに狩猟を始めたこと、初めて獲物を捕ったときのことや、わなを仕掛ける場所の考え方、そして命と向き合うことの重みについてのお話に、学生の皆さんも、狩猟の楽しさだけでなく、その責任や心構えについて、実感をもって学ぶことができたようでした。

また、地元の木曽猟友会からは、会員数の減少や高齢化といった現状、担い手を確保し技術を伝承していくための取組について紹介いただきました。地域の鳥獣対策は、一人で成り立つものではなく、地域の中で支え合いながら続けていくものだということも、学生の皆さんに伝わったのではないかと思います。

午後は、実際に手を動かしながら学ぶ体験学習を行いました。木曽猟友会の皆さんには、くくりわなや箱わなの仕組み、取扱い上の注意点を説明していただき、学生たちは実際にわなをかける体験もしました。



▲ 長野県の狩猟者の状況



▲ 模擬銃を使用して正しい銃の構え方を学ぶ



▲ わなの設置体験の様子

模擬銃を使った講習では、正しい銃の構え方や安全に扱うための基本について学びました。学生からは、実際の猟銃の重さに驚きの声が聞かれました。狩猟に必要な技術や責任の重さを、身近に感じてもらえたことがうかがえました。

さらに、捕獲した鳥獣の活用方法を知ってもらうため、木曽町でジビエやシカ革等の活用に取り組む難波崇さんを講師に迎え、シカ革クラフト体験も実施しました。学生たちは、木曽地域で捕獲されたニホンジカの革を使ってブレスレットづくりに挑戦しました。細長い革を編み込む工程に最初は少し苦戦しながらも、互いに教え合いながら進め、最後にはそれぞれ個性のある作品を仕上げていました。ものづくりを楽しみながら、命をいただいた後の資源活用について学ぶ時間になりました。

昼食には、同じく木曽地域で捕獲されたシカ肉を使ったカレーを味わってもらい、ジビエの魅力も体験してもらいました。「捕獲された動物の肉や皮などがどのように活用されているのか知ることができて良かった」という声もあり、狩猟が単に捕獲で終わるものではなく、地域資源の活用にもつながっていることを感じてもらえたのではないかと思います。

講座後のアンケートでは、今後狩猟に関わることにについて多くの学生から前向きな回答があり、狩猟を、自分には少し遠いものとしてではなく、山や地域とつながる身近な営みとして感じてもらえたことは、この講座の大きな成果の一つだったと感じています。

狩猟は、本来、地域の自然と向き合い、山の資源を活かし、人と自然との関わりを支える営みでもあります。今回の講座が、学生たちにとって狩猟の魅力や地域の捕獲対策に協力していただいている意義に触れるきっかけとなり、将来の選択肢の一つとして心に残る時間になっていれうれしく思います。

県では、今回の特別講座のほかに、捕獲者の確保・育成のための取組として、狩猟経験の少ない方（狩猟免許を取得して3年以内の方）や、狩猟に関心があり今後狩猟免許の取得を考えている方に向けた「ハンターデビュー講座」の実施を予定しています（10月～来年2月ごろ予定）。実施の際は県公式ホームページ等でお知らせしますので、ご興味のある方は是非ご参加ください。

【森林づくり推進課】



▲ 昼食の“シカ肉カレー”



▲ シカ革ブレスレットづくり 個性あふれる仕上がりになりました



令和8年度 長野県林業大学校学生募集及びオープンキャンパス開催のお知らせ

「自然のなかに心のなかに森林を育てる」学校に入りませんか」

長野県林業大学校では令和9年度の学生募集要項を公表しましたので、本校の現状や特長も併せてご紹介します。

本校では、昭和54年の開校以来、信州大学や県林業総合センターの研究機関等と連携のもと、全寮制による行学一致の教育を行い、本年3月までの46年間に、国や県、森林組合、林業木材関連会社などへ、856名の卒業生を送り出してきました。専修学校林業専門課程へ移行した平成13年度以降の463人の卒業生の進路を見ると、素材生産や木材流通等の民間企業が39%と最も多く、次いで森林組合が22%、公務員が21%となっています。

また、質の高い学びの機会の提供とともに森林・林業のニーズに対応した未来のイノベーション創出人材の育成を目指して、令和8年度からは資格取得(下ローン国家資格など)を含む新設科目を追加した新たなカリキュラムがスタートしています。さらに、進路に応じて選択するコース制を再編(マネジメントコース・スペシャリストコース)させることで、新時代の林業人材の育成に努めていきます。



1学年 屋久島研修(紀元杉)

本校のPR活動の一つとして「長野県林業大学校オープンキャンパス」を左記のとおり計画していますのでお知らせします。

【長野県林業大学校オープンキャンパスのご案内】

「来て・見て・納得」

左記の日程でオープンキャンパスを開催します。施設を見たり、先輩学生から直接話を聞いたりして、林大の魅力を実感してください。林大に興味のある生徒の皆さんはもちろん、ご家族や付き添いの方も大歓迎です。

◆開催日及び時間

第1回 令和8年7月25日(土) 9:30～12:10
第2回 令和8年8月23日(日) 9:30～12:10

◆内容

学校紹介、校内見学、「林大のスゴ技披露」、質問コーナー

個別相談(希望者のみ)

◆申込方法

【事前申し込みが必要です】

申込フォームから、開催日の1週間前までにお申し込み下さい。

なお、申込期限前でも、各開催日とも

参加者先着30名で締め切らせていただきます。

詳しくは、林業大学校のホームページをご覧ください。



申込フォーム

【令和9年度募集要項】

◆定員／1学年20名(推薦入学を含む)

◆推薦入学試験

受付期間／令和8年9月25日(金)～10月9日(金)

入学審査／令和8年10月30日(金) 筆記試験(小論文)、人物考査

合格発表／令和8年11月6日(金)

◆一般入学試験

受付期間／令和8年11月11日(水)～11月20日(金)

入学審査／令和8年12月5日(土) 筆記試験(小論文)、人物考査

合格発表／令和8年12月11日(金)

*詳しくは、県公式ホームページまで



長野県公式HP

長野林大 学生募集



■長野県林業大学校

〒397-0002

長野県木曽郡木曽町新開4385-1

電話 0264-23-2321

Fax 0264-21-1058

E-mail: ringyodai@pref.nagano.lg.jp

http://www.pref.nagano.lg.jp/ringyodai/index.html



昨年のオープンキャンパスの様子
(林大生のスゴ技披露)

現場で活躍する林業大学卒業生の紹介

株式会社小山林産 林業部



北原 睦晴さん 令和7年度卒（第46期生）

北川 聖司さん 平成25年度卒（第33期生）

沼田 豊輝さん 令和7年度卒（第46期生）

上田市武石にある小山林産には令和8年4月に林業大学の卒業生が2名入社しました。先輩職員も交えて、世代を超えて一緒に働く3名に、林大生の採用や就職先の選び方、林大で学んで良かったことなどを聞きました。

問1…何故、林大生を採用しようと思ったのですか？

北川さん「人材確保で真っ先に思い浮かんだのが林大でした。林大生は知識や資格だけでなく、実習経験が豊富だからです。卒業生として母校とのつながりを大切にしたい思いもあり、インターンを依頼し、採用につながりました。」

問2…インターンをどう選びましたか？また、インターンで印象に残ったことはありますか？

沼田さん「主伐に興味があったので、主伐が盛んな東信地域で就職先を探していたところ、先生から紹介があり、インターンを決めました。」

インターンでは、確かな技術力と雰囲気の良い印象的でした。」

問3…就職先に選ぶ決め手は何でしたか？

北原さん「就職先は、考え方や技術を学べる環境を重視しました。インターンを通じて、しっかり対話ができ、森林や地域との関わりを大切にする姿勢に共感し、ここで働きたいと思い、入社を決めました。」

問4…林大で学んで良かったことは何ですか？

北川さん「寮生活を共にした仲間とのつながりです。様々な経験をした仲間たちとの情報交換は大きな財産です。」

沼田さん「僕にも最高の仲間が出来ました！加えて、資格取得や重機操作の経験のおかげで、スムーズに就業できてます。」

北原さん「同感です。これらの経験は入社後すぐに役立っているなど実感してます。」

問5…未来の担い手へのメッセージ

沼田さん「林業の環境は自然好きにとっては何にも代え難い最高の原動力になります。ぜひ一緒に林業をやりたい！」

北原さん「作業が多岐に亘り大変ですが、その分やりがいも大きい仕事です。ぜひ林業に挑戦してほしいです。」

北川さん「一生モノの技術や体力を鍛えられる仕事です。少しでも興味があれば、ぜひ一歩踏み出してみてください。」



先輩職員の指導のもとで、現場で実践を積み重ねています。

【長野県林業大学校】
【信州の木活用課】



令和8年度長野県林業総合センター研究成果発表会が開催されました

令和8年度長野県林業総合センター研究成果発表会が、6月5日(金)に塩尻市レザンホールで開催され、約160人の森林・林業に興味をお持ちの皆様が参加されました。

今年のテーマは「育てる・生み出す・使い切る」です。

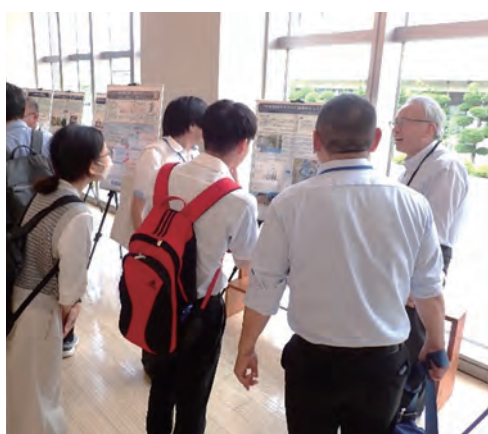
当センターからは、信州の森林づくりやその恵みに関する研究成果として、壇上では、カラマツコンテナ苗の育苗技術、林地残材から精油を抽出する装置の試作、マツタケ発生環境整備の実証、身近な里山広葉樹をビニールハウスを用い手軽に乾燥する技術など4題を発表しました。併せて、ポスター発表も15題行い、盛りだくさんの内容となりました。

また、継続的にさまざまな分野で交流・連携を行っている岐阜県森林研究所の皆様にも発表を依頼し、ヒノキコンテナ苗の育苗に関する口頭発表のほか、2題のポスター発表を行っていただきました。

口頭発表終了後のポスター発表コアタイムでは、来場者と当センター研究者の間であちこちに輪ができ、活発な意見交換が行われました。さらに、発表に併せて地下ギャラリーで開催した体験・見学コーナー



口頭発表会場の様子



ポスター発表コアタイムの様子



アロマ体験の様子



架線模型の体験の様子

では、高性能林業機械シミュレーターやチェーンソー伐採VR体験、アロマ体験のほか、TOYOTA伐倒プロジェクトエクシオンマッピング、架線模型、森林学習展示館で開催中の企画展「クマと森の動物試験研究展」の出張展示なども行いました。

アロマ体験では、12種類の森林由来の精油の香りを比較し、その違いを楽しみながら葉の観察も行い、森林の恵みを体感していただきました。手作りの「エンドレスタイラー式架線模型」も大好評で、糸巻きとテーパーカッターで作られた三胴式集材機を操作し、引戻索や荷上索の動きや集材の仕組みを体験する様子が印象的でした。

今後も、林業総合センターでは、森林や林業の未来に役立ち、心躍るような試験研究を推進するとともに、発表会等を通じて県民の皆様に見て・聞いていただき、それぞれの現場で役立てただけの成果の発信・普及に努めてまいります。

なお、当日の口頭発表の一部につきましてはYouTubeにて公開しておりますので、是非ご覧ください。



発表内容等
については
こちら！

【林業総合センター指導部】



区分	構造	戸数	間取り	想定世帯人数
A棟	木造平屋	5戸	1LDK	1～2人
B棟	木造平屋	3戸	3LDK	2～4人
C棟	木造2階	2戸	4LDK	4～5人



立科町では、喫緊の課題である人口減少対策として、令和6・7年度町営住宅（移住定住促進）建設に取り組みました。令和5年に町有林カラマツ73年生4haを皆伐。町有林カラマツを活用した戸建ての町営住宅10棟を建設しました。（材工分離発注）

構造材の7割と内装材の大半を町有林材で賄いました。構造材はカラマツ無垢材（芯去り材）使用を基本とし、使用木材は信州木材認証製品センター認証工場で製材加工した製材品を使用しました。

- ・伐 採：佐久森林組合（小諸市）
- ・製材加工：小林木材㈱（長和町）
- ・設計監理：山の辺建築設計事務所（松本市）
- ・施 工：三矢工業㈱（立科町）

立科町が建設していた移住定住促進住宅『ヴィーナス・ラーチたてしな』（町営住宅）が令和8年3月に竣工となりました。町有林カラマツを活用し、戸建て3種10棟の住宅を建設しました。

入居者募集は、本年2月16日（月）～3月6日（金）まで行われ、選考の結果全ての住宅の入居者が決定し、4月1日から入居が始まりました。

B棟（3LDK）に入居された安藤裕幸さん御一家に住み心地などをうかがいました。



安藤裕幸さん御一家

Q どんな生活ですか？

⇒夫婦と娘（1歳10ヶ月）の3人家族。上田市の借家から立科町の畑へワイン用ブドウ栽培に来ていましたが、応募当選を機に今年4月から立科町へ移住しました。

Q 住宅の第一印象は？

⇒窓のガラス面が広く明るい。木のぬくもりがあり、窓を開けると気持ちいい風を感じられます。木の香りが気に入っています。役場やツルヤに近くとても助かっています。期待以上です！

Q この住宅のいいところなど教えてください。

⇒オープンキッチンなので、料理をしながら子供の様子を見ることができます。吹き抜けは、ゆったり感のある一方、間仕切りしても声が聞こえるので使い方の工夫が必要です。

Q 地元産カラマツの使用感はどうですか？

⇒温かみと香りがいい。床板は無垢のまま使用しているので、裸足で歩くのが気持ちいい。

Q 子育て世帯にとって木造住宅はいいですか？ お子様の成長に与える影響は？

⇒化学物質の心配が少なく安心です。

Q 移住定住促進住宅建設にあたって御意見を。

⇒古民家を移住者用にリノベする時も、地元産木材を床や壁板に使ったり、オープンキッチンにするなど工夫すると思います。



立科町移住定住促進住宅『ヴィーナス・ラーチたてしな』が竣工しました！



上田地域

今年も本気(マジ)で植えました！
上田地域植樹イベント「UE森(うえもり)2026」を開催

上田地域では、SGEC森林認証の取得を契機に認証森林をフィールドとした「にぎやかな森プロジェクト」を始動、同プロジェクトの植樹行事として、それまでの地区植樹祭を「UE森」上田地域にぎやかな森づくり植樹の集い」とし開催しています。

UE森は「うえもり」と呼び、「UE」には上田・上小地域の「上」と、木を植える「植え」の意味が込められ、一般公募の方や森林認証の事務局である上小森林認証協議会と森林の里親契約を結んでいる企業の皆さんが参加しています。

今年は5月23日上田市鹿教湯温泉の市有林で開催。約230名の参加者にスタッフが加わり、にぎやかにカラマツ1,600本を植樹しました。

上田地域では主伐・再造林が進んできており、次世代へ繋ぐ森林づくりが重要となっています。参加者は「本気の森林づくり」を合言葉に集まり、地元の長野大学環境ツーリズム学部からも多くの学生が参加しました。また、モルックやドローン操作、林業の安全装備着用体験など体験ブースでは、皆さん興味深げに見たり楽しんでいました。植樹後には、学生対象の森林教室も開催されました。

植えたカラマツの成長を楽しみに、皆さんが地域の山々に目を向け、森林と触れ合う機会がさらに増えていくことを期待しています。



上(UE)までガッチリ植え(UE)ました



僕も私も初めての装着

【上田地域振興(局林務課)】

祝 御神木祭 仮御樋代木伐採式

— 産地特選優良製品展示即売会 —
7月25日(土)・売り出し8時50分

特殊材入札売り 締切 午後2時30分

出品 300 m³ 保証金 10万円(現金)

- ◆天然木曽檜特選材…証盤・板目盤・証平・厚板・フリッチ
- ◆天然木曽檜構造・造作材…柱・土台・敷居・鴨居他
- ◆(高)国木曽ひのき材…柱・敷居・鴨居・縁甲板他
- ◆広葉樹…敷居・鴨居・框・敷台
- ◆信州プレミアムカラマツ…桁

◎御買上賞

◎参加賞

お立会いの方に進呈いたします。

※ 交通ご案内 名古屋発(特急しなの1号) 7:00→8:22上松着 当市送迎車にご乗車下さい。
※ 市日当日は全ての出荷は致しませんのでご了承下さい。

木之霊神社例祭

AM 8:10



長野県木曽郡上松町

木曽官材市売協同組合

TEL (0264) 52-2480(代) FAX (0264) 52-2324

ホームページ <http://www.kisokan.com>



北信州森林組合が長野県初の 「提案型集約化モデル団体」に認定されました

民有林の多くでは所有者が細分化され、境界も不明確なまま放置されていることから、所有者との合意形成や事務手続きが進まず、効率的な森林整備や木材生産の大きな阻害要因となっています。手入れ不十分な森林が放置されることは、森林の持つ公益的機能の低下に起因する獣害、土砂災害等のリスク増大に加え、森林への関心低下に拍車をかけることにつながり、あらゆる日本の林業における課題の素因と言えます。

こうした現状に対応すべく、複数の森林所有者に対し施業内容、施業を実施した場合の収支を明らかにした森林施業提案書を提示して、森林をまとめて施業を行う「提案型集約化施業」が全国的に森林組合等で進められております。

さらに、その品質向上や担い手である森林施業プランナーの育成に向け、全国森林組合連合会では、提案型集約化施業の実行体制が組織として確立しているか、審査機関が専門的かつ客観的な立場から審査を行う「提案型集約化施業モデル団体認定」を行っており、全国で17森林組合が認定されています。

認定にかかる外部による審査を受けることで、自組織が抱える課題を具体的に把握し、提案集約化施業への取り組み見直しや組織運営の改善、森林所有者へのサービス向上等につなげることが期待されるほか、認定団体での実務経験で森林施業プランナーの認定がなされることや林業機械のリースや整備にかかる交付金の交付率引き上げなどのメリットがあります。

令和7年度に申請した北信州森林組合では、合併前から「境界明確化事業」を始め、航空レーザー測量などリモートセンシング技術を駆使して境界を調査し、GIS（地理情報システム）データとして永続的な管理をしており、約8,000haもの境界明確化と集約化施業による森林づくりに取り組んできた実績が評価され、令和7年3月31日付けで長野県第一号のモデル団体に認定されました。

今回の認定を皮切りに、さらなる認定団体の増加が期待されます。



令和8年度 職長・安全衛生責任者教育



▲新人に普段当たり前にやっている作業を改めて教えるのは存外難しい



▲リスクアセスメントの検討
普段から取り組んでいる組合も多い



▲林業安全ゲームは遊びながら安全作業について議論ができるツールだ

安曇野市三郷のもくりゅう館で、6月25日、26日に森林組合職員を対象とした「職長・安全衛生責任者教育」が開催されました。

この研修会は現場の作業員の安全及び指導・監督能力の向上を目的として平成11年から継続して開催されています。今回は、7組合から15名が受講しました。

森林組合での職務経験もある、RSTトレナーの横山繁樹氏を講師に迎え、職長の役割や職務、監督・指示の方法等の講義と各議題について学びました。研修はグループワークで進められ作業手順書の作成、危険予知トレーニング（KYT）、リスクアセスメント、チェーンソーによる伐木造材作業に関する作業計画書の作成、長野県内で実際に発生した災害事例の研究を行いました。

今回、初めての取り組みとして、グループワークの中で、林業安全知識を学べるボードゲーム「林業安全ゲーム」を活用し、作業現場で起こる危険行為やリスクについてディスカッションしながら、災害が発生した場合の対応や予防策について楽しく理解を深めました。

受講者には後日、労働安全衛生法で定められた「職長・安全衛生責任者教育カリキュラム」に基づく修了証が交付されます。



ながの緑花まつりに出展しました

4月25日(土)、長野市の城山公園にて「ながの緑花まつり」が開催されました。

花苗の販売やガーデニング教室、子どものお仕事体験、防災体験などを通じて、緑と花に親しみながら環境や街づくりについて学べるイベントで、当会では、木育として長野県北信地域のスギを使った木製プランターづくり体験を行い、親子連れを中心に楽しく木の温もりを感じていただきました。

長野県森組合も出展し、乾椎茸などの販売のほか、チェーンソーアートの実演を行いました。



▲GW間近の行楽日和となり、城山公園はたくさんの方で賑わっていた

Forest コーハイコーナー



いいものいっぱい！
森林組合購買チラシ



◀リファインシリーズの牛ヌメ革製のチェーンソーカバー
ロゴバッジ部分は、有害駆除された鹿革を使用している

木曽馬×ヒノキ精油セット
アロマスタンドは朴の木製
売上の一部は木曽馬保護に
寄付される▶



この度、2026年版の「森林組合購買チラシ」が完成しました。組合員の皆様にご好評いただいている購買チラシは、中部東海北陸地域を中心に福島や茨城、兵庫の12県森連合同で毎年作成しており、今年で33回目になります。

裏面の「しんくみバザール」は、表面に載せきれなかった魅力ある商品を紹介するほか、地元産材を活用した県内森林組合取り扱い商品を紹介しております。

注目の新規掲載商品の一つは、南信州発のレザーブランド「リファインシリーズ」。牛ヌメ革製のベルトや財布など質感の高い商品が魅力です。もう一つは、飯伊森林組合取り扱いの「木曽馬×ヒノキ精油(木の香と)セット」で、木曽馬を模ったかわいいアロマスタンドにヒノキ精油を垂らして香りを楽しむアイテムになっています。

表裏合わせて約160点ほどの魅力的なアイテムが掲載された「森林組合購買チラシ」は県内各地の森林組合で配布しているほか、長野県森連HPでも閲覧できます。

ぜひこの機会に、森林組合の購買商品をチェックしてみてください！
お求めはお近くの森林組合へ！



▲QRコードから
購買チラシにアクセス！



森林組合しか知らない世界

森林組合って何？どんな仕事をしているの？組合員って？…etc.

そんな森林組合にまつわる、森林組合しか知らない世界を紹介するコーナーです♪

今回のテーマ：
～林業の一年をのぞいてみよう～

新緑や紅葉、雪景色と、四季折々、美しい表情を見せてくれる長野県の山。

森林組合では、組合員の皆様の所有林を中心に、森林を生かし守るべく技能職員が様々な施業を行っています。自然のリズムに寄り添いながら、技能職員が山の中でどのような作業を行っているのかをご紹介します。

春



しょくじゅ
「植樹」

地拵えした林地に新しくスギやカラマツ、ヒノキ等の苗木を植えます。



コンテナや苗畑で育った苗木を一本一本の手で植えます。等高線に沿って等間隔になるよう尺棒を使って位置を決め、大きめの穴を堀り、土をかけた後、踏み固めます。上部を引っ張り、抜けたらアウト！もう一度植え直します。

夏



「下刈り」 雑草が苗木の生育を妨げないように周りの草木の刈り払いを行います。



植付される苗木は高さ 50 ～ 80cm 程度です。そのため、植付後は生い茂る草木に負けないよう、周囲を刈る下刈り作業を行います。暑い中、外での長時間の作業なので、熱中症や蜂刺されの対策を行いながら、安全に作業します。

秋



「木材生産」 安全に伐倒した後、枝をはらい、造材して山土場に集めます。



近年はプロセッサによる枝払い、玉切り、タワーヤードやフォワーダによる集材など、高性能林業機械を使う作業が当たり前となりました。伐出コストを抑え、まとまった量の木材を安定供給することで、利益の向上を目指します。

冬



「地拵え」 植樹をするため、伐採により散乱した枝葉や残木等を取り除き整地します。



地拵えは伐採が終了した翌年以降に行いますが、近年は、伐採に使用した重機をそのまま利用し地拵えを行う、一貫作業システムが試行されています。経費のかかる作業の効率化を図ることで再造林コストの削減を目指します。

木材は人が手を加えれば 50 ～ 100 年で再び利用できるまで成長する循環可能な資源です。私たちが正しく木材を使い、再び育てることが豊かな森林とその恵みを次世代に受け継ぐことにつながるのです。

厳しい暑さの日も、雪が深く積もる日も、技能職員たちが山に入り続けるのは「100 年先の未来に豊かな自然を残したい」という思いがあるからこそ。そんな熱い思いを胸に、今日も長野県の美しい山々を守り続けています。



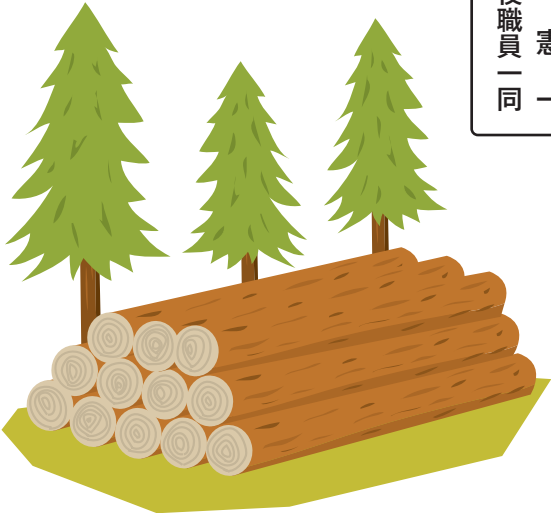
XXXXXXXXXXXX



暑中お見舞い申し上げます



XXXXXXXXXXXX

緑の担い手 信州上小森林組合 代表理事 石井 公彦 組合長 石井 公彦 役員一同	緑を育て山を守る 佐久森林組合 代表理事 山岸 喜昭 組合長 山岸 喜昭 役員一同	レストラン 四季の味 樹木里 南佐久南部森林組合 代表理事 由井 明彦 組合長 由井 明彦	南佐久中部森林組合 代表理事 黒澤 和夫 組合長 黒澤 和夫	南佐久北部森林組合 代表理事 佐々木 勝 組合長 佐々木 勝
 諏訪森林組合 代表理事 藤森 良隆 組合長 藤森 良隆 役員一同	木曽山林協会 会 長 越 原 道 廣 役員一同	下伊那山林協会 役員一同	上小林業振興会 会 長 羽 田 健一郎 役員一同	佐久森林林業振興会 役員一同
		信州根羽すぎ・根羽ひのき 根羽村森林組合 代表理事 大久保 憲一 組合長 大久保 憲一 役員一同	 飯伊森林組合 代表理事 佐藤 健 組合長 佐藤 健 専任理事 吉澤 悦史 役員一同	 上伊那森林組合 代表理事 伊藤 祐三 組合長 伊藤 祐三 役員一同 もりもり上伊那
		上小木材協同組合 理 事 長 小 林 基 英 組合員一同 上田市芳田一八一八一 ☎(〇二六八)三五一一四〇〇	北佐久木材協同組合 理 事 長 新 井 藤 弘 組合員一同 事務所 小諸市大字平原四ツ谷原九六七一七 ☎(〇二六七)一二一一二一〇 FAX(〇二六七)二四一〇六八三	



暑中お見舞い申し上げます

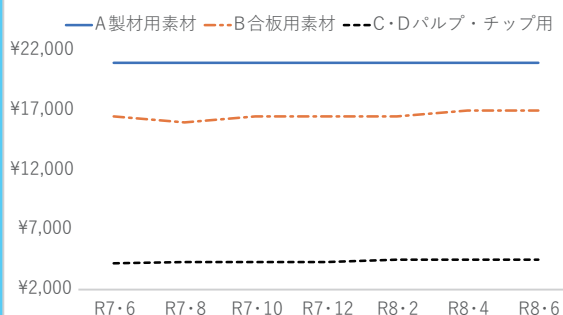


XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

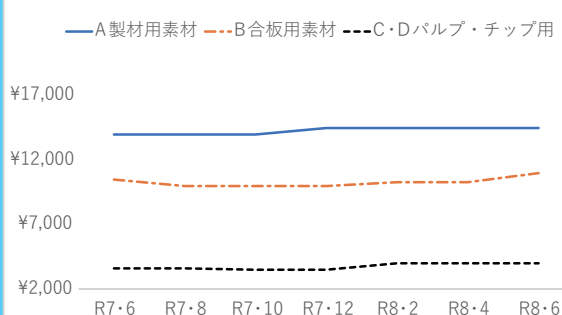
北アルプス森林組合 代表理事 割田 俊明 組合長 役職員一同	和合森林組合 代表理事 村澤 博光 組合長 役職員一同	長野森林組合 代表理事 寺澤 泰昭 組合長 役職員一同	木曽南部森林組合 代表理事 坂家 重吉 組合長 役職員一同	北信木材生産センター協同組合 代表理事 竜野 昭 長野市大字穂保字中ノ配三三二
日本林業土木(株) 出張所 所長 木村 敏宏 長野市岡田町三〇一八五 長野県林業センタービル内 ☎(〇二六)二二七・六一八五	株式会社 吉本 代表取締役社長 由井 正宏 南佐久郡佐久穂町大字平林二二二 ☎(〇二六)八六一四三・〇五 FAX(〇二六)八六一五五四四	南木曽町森林組合 代表理事 堀 賢介 組合長 役職員一同	ハイグレード集成材 信州唐松丸 齋藤木材工業株式会社 代表取締役社長 齋藤 健 〒386-0603 長野県小県郡長和町古町四二九四 TEL(〇二六)六八・三三三・五 FAX(〇二六)六八・〇二二・〇	宮澤木材産業株式会社 代表取締役 宮澤 遥 長野市中曾根二一八八・一五 ☎(〇二六)三三九・〇五八・八 FAX(〇二六)三三九・三三八・八 森林環境部 ☎(〇二六)三三九・三二五・〇 FAX(〇二六)三三九・三二五・〇
南安曇木材協同組合 理事長 佐原 良彦 安曇野市穂高七九四・〇一二七 ☎(〇二六)三三・七二二・二〇〇	松本広域森林組合 代表理事 吉田 満男 組合長 役職員一同	木曽官材市売協同組合 理事長 勝野 智明 長野県木曽郡上松町正島町二四四五 TEL(〇二六)四五一・二四八・五 FAX(〇二六)四五一・二四八・四	一般社団法人 日本森林技術協会 長野事務所 所長 油井 章次郎 長野市岡田町三〇一・一六 ☎(〇二六)二二七・二六六・〇	みどり産業株式会社 代表取締役 篠原 明 本社 長野市大字稲葉二四三・三三 長野市友ビル ☎(〇二六)二二四・一八七・〇八 FAX(〇二六)二二四・一八七・〇八
栄村森林組合 代表理事 久保田 道一 組合長 役職員一同	北信州森林組合 代表理事 山崎 明 組合長 役職員一同	木曽森林組合 代表理事 原 久仁男 組合長 役職員一同	信州の木認証合板で 地産地消の緑の循環  針葉樹合板のパイオニア 林ベニヤ産業株式会社 (本社) 06-6228-1401 (七尾工場) 0767-52-4376 (舞鶴工場) 0773-68-0306 (北陸営業所) 0767-52-4376	

JForest 長野県の木材市況

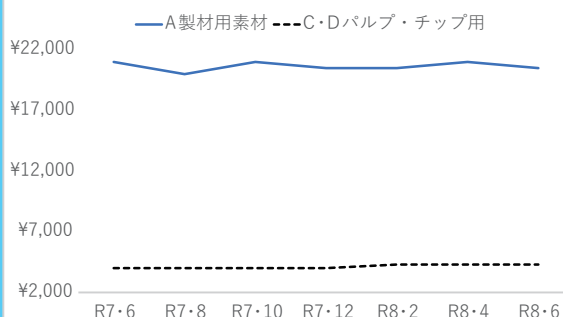
カラマツ用途別素材立米単価 (円/m³)



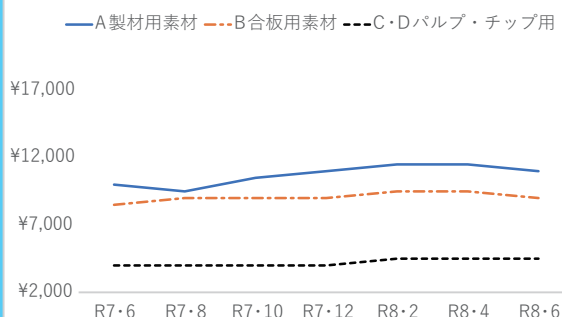
スギ用途別素材立米単価 (円/m³)



ヒノキ用途別素材立米単価 (円/m³)



アカマツ用途別素材立米単価 (円/m³)



※北信、中信、伊那木材センターの市況表より作成

関東甲信越地方も梅雨入りし、信州の山々も雲に隠れがちな季節となりましたが、6月の県内各木材センター市売にご出品いただき誠に感謝申し上げます。

材が傷みやすい時期に入ったことにより、出材量、価格ともに下降傾向でありましたが、クリ、クルミ、ナラの大径材や良材に引き合いがありました。また、伊那木材センターではヒノキの社木が出品され、賑やかな市売となりました。

中東を巡る情勢の影響により製材用・合板向け丸太の需要は依然先行き不明ですが、継続的に納材が出来ている状況です。各木材センターでは、需給に応じた仕分け・極積みをしてまいりますので、これから伐採を計画されている方はご相談ください。

引き続き、集荷のご協力をお願いいたします。

【長野県森林組合連合会は合法木材に取り組んでおります】

合法木材供給事業者の登録をお願いするとともに、出荷の際には、納品書に合法木材認定番号を記載し、令和7年4月1日施行の「クリーンウッド」法に伴い、合法的に伐採された木材であることの証明する書類（伐採届、森林経営計画認定書等）の提出をお願いいたします。

※安全のため荷下ろし・積み込の際には車止め、またヘルメットの着用をお願いします。



県森連 HP では市売情報を写真付きで随時更新しております！

最新の市況表もご覧いただけますので、納材や入札の検討にご活用ください！

「長野の林業」のバックナンバーもこちらから♪



長野県森連